



×



①

■2025年度、新メンバー募集
中！ あなたも、
執筆メンバーに
入りませんか？
興味がある中高生、
大学生の方はこちらまで！



この連載はSDGs
に関心のある学生メン
バーが、仏教の教えを
ヒントにSDGsの目
標と、私たちの日々の
生活とのつながりを考
えながら、より良い未
来へ向けたアクション
について伝えていま
す。毎年、メンバーが
入れ替わりながら、連載
5年目を迎えました！

The Fifth Year



○るーな
・高校3年生

私は全寮制の学校に通っているため、普段実家から離れて生活しています。また実家と寮が遠いため、帰省できる機会も限られています。その限られた帰省の機会である、年末年始休みの直前に私はインフルエンザにかかってしまいました。

体調が落ち着き次第帰省することはできませんでしたが、姉と母も風邪を引いており、家族揃って食事をすることも難しい状況でした。そんな状況の中で、私は実家で家族揃って過ごせないことへの寂しさを感じました。普段寮生活でホー

ムシックになることはない自分が寂しい気持ちを持ったことに少し驚きましたが、このことによって自身が持つ家族への想いを再確認することができました。また、この想いへの気づきは、もっと家族の役に立ちたい、という気持ちにも繋がったと感じています。これからも、家族への想いを大切にしながら共に楽しい時間を過ごしていこうと思います。

現在、社会には様々な大きな問題があり、それらに取り組み、協力する人も増えていきます。これも大切なことですが、それと同時に自分の身近な人に目を向けて、その人への想いから行動をすることも大切なのではないかと思える体験となりました。





○Minaty
・高校1年生

僕は学校で「ダイアログコネクション」というプロジェクトに入っています。ダイアログコネクションは、他校の生徒や大学生、大人の方々と交流をしながら哲学対話をし、考えを深めていく活動です。哲学対話は普通の対話とは違い、決まったテーマについて話し合ってきた答えを認め合いながら、理解を深めるための対話です。

僕はこれまで、人と話す時に相手に否定されることが怖くて、頭の中で考えすぎてしまい、上手く話すことができませんでした。特に初対面の人と話すのが苦手でした。でも、このプロジェクトでの哲学対話では、どんな意見を言っても誰からも否定されないの、安心して人とたくさん話すことができました。そのおかげで、初対面の人でも気軽に話せるようになりました。また価値観が違っても、否定せず対話を続けることで、お互いを理解し仲良くなれることを学びました。



○あおい
・高校2年生

私はこの冬休みに2024年の年越し海外旅行として台湾へ行ってきました。その中で、私が学んだ日本と台湾の宗教観や考え方の違いを今回は話していこうと思います。

まず私は1740年に落成されて以来、200年以上もの間修復を繰り返しながらも2018年には国定古跡として認定された龍山寺を訪れました。本尊である観世音菩薩と100以上の神を祀っています。そんな中、私が印象に残っているのは日本のお寺とは違い、先祖供養ではなくコミュニティの





場としての役割が主だということです。供物や線香も派手なものが多く、活気があり賑やかな雰囲気でした。これが日本の仏教文化とは異なる、中国系大乘仏教の考え方なのだろうと思いました。

次に思い出深く残っているのは世界4大博物館として中国の4000年の歴史を肌で感じることができる故宮博物院です。蒋介石が国共内戦にて毛沢東に敗北し、台湾に逃亡する際に運んできた宝物2万点は現代においても色褪せることなく展示されています。その中には「智慧と慈悲」の教えが抽象的、あるいは写実的に表されており、その悠久の歴史に胸を打たれました。

台湾の仏教文化は厳かである日

本とは対照して人と人を賑やかに繋いでいく役割を持つているのだと感じました。同じ宗教でも国によって全く異なるのがこの文化の奥深いところだと思えます。



私の冬休みは、たまっていた本をのんびりと読む、豊かな冬休みでした。テーマは、心理、仏教、哲学、思想、教育に関わるものですが、どの本も、世界の動向を考察しながら、各分野を俯瞰し、人間のあり方を問いかけてくる内容でした。簡単にまとめると、第二次世界大戦直後は復興と経済発展の時代。並行して工業化と公害問題が発生する1960年代。そして、膨大なエネルギー消費と、

オゾン層の破壊や地球温暖化の関係性が問われる時代へ。1986年のソ連チエルノブイリの原発事故は象徴的でした。

1987年、国連は、環境と開発に関する世界委員会が報告書

「Our Common Future」を発表します。この「持続可能な開発(sustainable development)」という概念が取り上げられ、MDGs、SDGsへと繋がっていきましました。

時代は、経済成長の限界から地球環境の持続性と人間活動のあり方を考え直す時代に確実に変遷しています。私が見なさんと一緒に考え続けたい問いは「人間らしさとは？」です。仏教の教えにも通じる問いだと思います。(山藤)

